

京都・市民放射能測定所 設立7周年記念講演集

被ばくは低線量でも危険

低線量被ばく健康影響 周産期死亡の増加

このパンフレットは、2019年5月19日に開催した『開設7周年のつどい』の2つの講演を収録しています。本行忠志さんには、「低線量被ばく健康影響」をテーマに、放射線感受性の個人差や複合影響、放射線アレルギーなどについて、講演していただきました。入江紀夫さんには、「周産期死亡の増加—先天性障害の分析から—」と題して、原発事故による放射能汚染地域で周産期死亡率の上昇が見られることや、複雑心奇形の手術件数が有意に増加していることについて、講演していただきました。いずれも、低線量被ばくでも健康被害が出る事が明確に示されています。

ぜひこのパンフを多くの方にお読みいただき、「被ばくは低線量でも危険」であることを広めていただければと思います。ぜひ、お買い求めください。

○パンフレットの構成

I 低線量被ばく健康影響について

本行 忠志さん(大阪大学医学部教授)

個人差について/複合影響について/放射線アレルギーについて/低線量被ばくでの疾患発生例/福島甲状腺がんについて/避難計画は大丈夫か

II 周産期死亡の増加—先天性障害の分析から—

入江 紀夫さん(医療問題研究会・小児科医)

生まれるまでの過程/周産期死亡は増えている/先天異常の増加—ベラルーシ、日本—/子どもたちを人柱にはいけない

定価 500円

* 郵送の場合、別途送料が必要です。

1冊 180円、2冊 215円、3~4冊 310円、5~7冊 360円

8~10冊 370円 (レターパックライト)

11冊以上必要な方は、ご相談ください。

京都・市民放射能測定所

〒612-0066 京都市伏見区桃山羽柴長吉中町55-1コーポ桃山105



耕文社 A4版 30ページ

購
入
申
込
書

HP : <http://nukecheck.namaste.jp/>

FAX : 075-622-9870

E-Mail : shimin_sokutei@yahoo.co.jp

(ふりがな)

お名前

申込

冊

〒

ご住所(送付先)

電話

E-mail